

噴火から身を守ろう

噴火の怖さ

大きな噴石

- 建物の屋根をつき破るほどの破壊力を持った大きな噴石が火口から四方に飛び散る。

火砕流・火砕サージ

(火山灰を含む高温・高速の気流)

- 数百度にもなる高温の火山灰や水蒸気などが猛烈なスピードで火口からふもとへと降りてくる。

融雪型火山泥流

- 豪雪地帯の火山が噴火すると雪が一気に解けて巨大な泥流が発生する。

噴火時の避難の心得

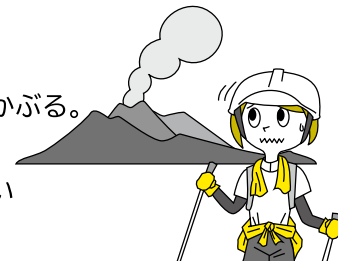
気象庁が発表する噴火速報、噴火警報や噴火警戒レベル等に注意する。入山規制や避難指示などがあった場合は、入山せず、すぐに避難する。

火山ガスによる死亡事例もあるから、火山ガスがたまりやすい谷間やくぼ地などに注意しよう。



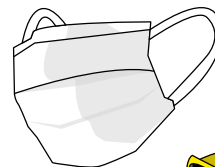
もし、登山中に噴火に遭遇したら...

- 頭部を守るためにヘルメットなどをかぶる。
- 火口から急いで離れる。
- 避難する際、火山灰や火山ガスを吸い込まないように、タオルを口に当てる。

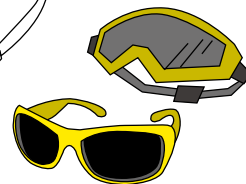


火山灰は、噴火したときに飛散する岩石やマグマの細かい粒。大きな噴火では、数百キロ離れた場所まで飛ぶことがある。とても硬くゴツゴツしたガラス質なので、体内に入ったり、目や肌に着けると健康を害することもある。

- 防塵マスクを着用する。



- メガネやゴーグルを使用する。



- 露出の少ない服を着用する。



火山灰から身を守ろう!

